

事務事業名	県指定文化財修繕支援事業				担当	教育委員会 文化課 文化財係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-7731	
施策名	5	文化財の保護と継承			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	栃木県補助金交付規則、文化財保存事業費補助金交付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47 年度～）	
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	2文化財保護費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	県指定文化財について、所有者からの申出や、文化財パトロール員の意見を聞いて、市で必要としたものを県に提出。県との協議後、県が決定する。修復が県指定の場合、県の補助率は、50%、残りは市と文化財所有者と協議して決定する。補助要望 審査 補助事業決定 申請 交付決定通知 修復工事 工事完了報告書 請求 交付。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 事業は実施していない。  23年度計画 事業の予定はなし。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																										
	<table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr></thead><tbody><tr><td>ア 県費補助金額</td><td>千円</td><td>1484</td><td>1487</td><td>1485</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 県費補助金額	千円	1484	1487	1485	0	0	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア 県費補助金額	千円	1484	1487	1485	0	0																																					
イ																																											
ウ																																											
エ																																											
オ																																											
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 県指定の文化財	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																										
	<table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr></thead><tbody><tr><td>ア 県指定文化財の数</td><td>件</td><td>51</td><td>51</td><td>65</td><td>65</td><td>65</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 県指定文化財の数	件	51	51	65	65	65	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア 県指定文化財の数	件	51	51	65	65	65																																					
イ																																											
ウ																																											
エ																																											
オ																																											
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 文化財の修復	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																										
	<table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr></thead><tbody><tr><td>ア 県補助により修復された文化財の数</td><td>件</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>イ 現在までに修復された県指定文化財数</td><td>件</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 県補助により修復された文化財の数	件	1	1	1	0	0	イ 現在までに修復された県指定文化財数	件	14	14	14	14	14	ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア 県補助により修復された文化財の数	件	1	1	1	0	0																																					
イ 現在までに修復された県指定文化財数	件	14	14	14	14	14																																					
ウ																																											
エ																																											
オ																																											
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 貴重な文化財の保存	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																										
	<table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr></thead><tbody><tr><td>ア 補助により修復された文化財の数/県指定文化財の数</td><td>%</td><td>27.5</td><td>27.5</td><td>21.5</td><td>21.5</td><td></td></tr><tr><td>イ 文化財を大切にしたいと感じている市民の割合</td><td>%</td><td></td><td></td><td>95.4</td><td>92.3</td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 補助により修復された文化財の数/県指定文化財の数	%	27.5	27.5	21.5	21.5		イ 文化財を大切にしたいと感じている市民の割合	%			95.4	92.3		ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																					
ア 補助により修復された文化財の数/県指定文化財の数	%	27.5	27.5	21.5	21.5																																						
イ 文化財を大切にしたいと感じている市民の割合	%			95.4	92.3																																						
ウ																																											
エ																																											
オ																																											

(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	1,484	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	156	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,335	1,338	1,336	1,417	0
		事業費計(A)	千円	2,975	1,338	1,336	1,417	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	80	80	80	100	0
		人件費計(B)	千円	335	334	324	427	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,310	1,672	1,660	1,844	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	47年に県において文化財保存事業費補助金交付要領が制定され、県指定文化財を後世に残すため修復の必要性が生じた場合、県の補助制度を導入した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	文化財の老朽化に伴い、修復を要する文化財が増えている。県の文化財等修復にかかる予算も削減されているために、補助金確保に苦慮している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化財の保護に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化財保護のため必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 県指定の文化財である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 県の補助を受けて文化財の修繕を行う。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 文化財の修復には、多額な経費がかかり所有者だけでは、負担しきれないので支援が必要である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 県指定の貴重な文化財の保護に支障が出る。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助申請等の最小限の経費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 所有者負担もある。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							